

11 住み続けられる
まちづくりを

持続可能なまちづくりへ連携

国立大学法人福島大学と包括連携協定締結

国立大学法人福島大学と町との包括連携協定が1月14日付けで締結されました。

新型コロナウイルスの感染が拡大していることから締結式の開催を見合わせ、協定書への署名は郵送により行いました。

協定では、相互の資源を有効に活用した包括的な連携のもと、産業の振興や地域づくり、教育などの分野で協働活動の推進を図り、地域社会の発展と将来を担う人材育成に寄与することを目的として、次の5項目に取り組むこととしています。

- 1 地域産業の振興に関すること
- 2 地域課題の解決に向けた地域づくりに関すること
- 3 地域人材の育成に関すること
- 4 教育・文化・スポーツの振興に関すること
- 5 その他相互に必要なと認める事項に関すること

今後、町では、持続可能なまちづくりを進めるため、産業の6次化と発酵のまちづくり推進事業や地域コミュニティづくり事業などを中心に連携を深めてまいります。



宍戸さん

11 住み続けられる
まちづくりを

新たに新築住宅を取得した世帯を支援

小野町定住祝金贈呈式

町への定住支援として、新たに新築住宅を取得した佐藤拓也さん(湯沢)、荒井純一さん(雁股田)、宍戸朗さん(平館)に小野町定住祝金(小町さくら商品券)が贈呈されました。

町では今後も町内への定住支援を積極的に行ってまいります。

15 隣の豊かさ
を学ぶ

緊急時の連携体制構築へ

1市2町ツキノワグマ対策会議

1市2町(田村市・三春町・小野町)によるツキノワグマ対策会議が1月20日、船引公民館(田村市)で開かれました。

これは、昨年、田村市で初めてツキノワグマが捕獲されて以降、田村管内でクマの目撃情報が複数寄せられたことから、緊急時における関係機関の連携体制の構築を目的として開かれたものです。

会議には、田村市、三春町、小野町、田村警察署、福島県猟友会田村支部・小野支部の関係者が出席し、現場対応に精通している講師からツキノワグマが出没した場合の対応について講話があり、参加者は熱心に聞き入っていました。



クマ出没時の対応について学ぶ参加者